

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	佐賀県	市町村類型	V - 0	指定団体等の指定状況			区分		令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分		令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)
				財政健全化等	×	×	歳入総額	19,948,763			17,439,054	実質収支比率		
市町村名	白石町	地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳出総額	19,179,590	16,755,644	経常収支比率	91.6	89.9			
				首都	×	歳入歳出差引	769,173	683,410	(※1)	(92.1)	(90.8)			
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	88,354	98,616	標準財政規模	7,921,754	7,796,019			
				中部	×	実質収支	680,819	584,794	財政力指数	0.33	0.33			
人口	令和2年国調(人)	22,951	産業構造(※5)			単年度収支	96,025	24,154	公債費負担比率	18.8	18.0			
	平成27年国調(人)	23,941				積立金	294,214	383,959	健全化判断比率					
	増減率(%)	-7.9				繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口(※7)	令06.01.01(人)	21,398	第1次	令和2年国調	2,936	3,606	低開発	×	積立金取崩し額	297,753	0	連結実質赤字比率		
	うち日本人(人)	21,120		うち日本人(人)	21,741	24.9	28.3	指数表選定	○	実質単年度収支	92,486	408,113	実質公債費比率	10.2
	令05.01.01(人)	21,741	第2次	うち日本人(人)	21,533	2,334	2,411	基準財政収入額	2,398,659	2,361,911	資金不足比率(※4)			
	増減率(%)	-1.6		うち日本人(%)	-1.9	19.8	18.9	基準財政需要額	7,303,370	7,111,289				
	面積(km ²)	99.56	第3次	うち日本人(%)	6.543	6,735	標準税収入額等	2,976,455	2,959,774					
		人口密度(人/km ²)		221	55.4	52.8	経常経費充当一般財源等	7,474,774	7,028,423					
	世帯数(世帯)	7,247				歳入一般財源等	10,290,197	9,606,324						
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	14,644,548	14,019,949			
	市区町村長	1	7,760		一般職員	232	741,008	3,194	うち公的資金	10,581,530	11,574,171			
	副市区町村長	1	6,300		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	10,982,433	9,908,689			
	教育長	1	5,380		うち技能労務職員	7	19,719	2,817	債務負担行為額(支出予定額)	1,031,339	1,152,652			
	議会議長	1	3,280		教育公務員	2	*	*	収益事業収入	-	-			
	議会副議長	1	2,740		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	385,000	385,000			
	議会議員	14	2,550		合計	234	749,580	3,203	財政調整基金	2,830,914	2,834,452			
					ラスバイレス指数				96.6	積立金現在高	2,019,572	2,013,022		
										減債基金	4,571,062	4,577,857		
										その他特定目的基金				
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	(※3)								
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							
(1) 一般会計		(2) 白石町国民健康保険特別会計		(4) 白石町下水道事業会計		(5) 杵藤地区広域市町村圏組合(一般会計)	(15) 財団法人文化振興財団							
		(3) 白石町後期高齢者医療特別会計				(6) 杵藤地区広域市町村圏組合(特別会計)	(16) 株式会社只江川スポーツパーク							
						(7) 佐賀県市町総合事務組合(一般会計)								
						(8) 佐賀県市町総合事務組合(特別会計)								
						(9) 佐賀県西部広域環境組合								
						(10) 杵島地区衛生処理組合								
						(11) 佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
						(12) 佐賀県後期高齢者医療広域連合(特別会計)								
						(13) 佐賀県西部広域水道企業団(水道事業会計)								
						(14) 佐賀県西部広域水道企業団(水道供給事業会計)								

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	2,459,985	12.3	2,459,985	30.3	普通税	2,459,985	100.0
地方譲与税	136,056	0.7	136,056	1.7	法定普通税	2,459,985	100.0
利子割交付金	785	0.0	785	0.0	市町村民税	1,137,654	46.2
配当割交付金	9,105	0.0	9,105	0.1	個人均等割	40,405	1.6
株式等譲渡所得割交付金	10,271	0.1	10,271	0.1	所得割	1,033,162	42.0
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	32,211	1.3
地方消費税交付金	509,216	2.6	509,216	6.3	法人税割	31,876	1.3
ゴルフ場利用税交付金	1,207	0.0	1,207	0.0	固定資産税	1,022,429	41.6
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	1,021,941	41.5
自動車取得税交付金	856	0.0	856	0.0	軽自動車税	110,387	4.5
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	189,515	7.7
自動車税環境性能割交付金	11,823	0.1	11,823	0.1	鉱産税	-	-
法人事業税交付金	36,088	0.2	36,088	0.4	特別土地保有税	-	-
地方特例交付金等	15,762	0.1	15,762	0.2	法定外普通税	-	-
地方特例交付金	14,544	0.1	14,544	0.2	目的税	-	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	1,218	0.0	1,218	0.0	法定目的税	-	-
地方交付税	5,427,308	27.2	4,904,711	60.4	入湯税	-	-
普通交付税	4,904,711	24.6	4,904,711	60.4	事業所税	-	-
特別交付税	522,597	2.6	-	-	都市計画税	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-
(一般財源計)	8,618,462	43.2	8,095,865	99.7	法定外目的税	-	-
交通安全対策特別交付金	3,066	0.0	3,066	0.0	旧法による税	-	-
分担金・負担金	274,168	1.4	-	-	合計	2,459,985	100.0
使用料	66,266	0.3	14,629	0.2			
手数料	52,562	0.3	-	-			
国庫支出金	1,898,475	9.5	-	-			
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	2,790,084	14.0	-	-			
財産収入	20,311	0.1	5,921	0.1			
寄附金	1,428,519	7.2	-	-			
繰入金	1,440,636	7.2	-	-			
繰越金	683,410	3.4	-	-			
諸収入	163,204	0.8	132	0.0			
地方債	2,509,600	12.6	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	40,000	0.2	-	-			
歳入合計	19,948,763	100.0	8,119,613	100.0			

区分	令和5年度	令和4年度
徴収率 現・計 (%)	99.2	98.1
合計	99.2	98.4
市町村民税	99.1	97.5
純固定資産税	99.1	97.2

公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況
合計	451,087
下水道	444,244
上水道	3,064
工業用水道	5,538
交通	166
国民健康保険	183,815
その他	891,648

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	113,907	0.6	-	113,893
総務費	3,450,241	18.0	47,802	1,856,484
民生費	4,036,281	21.0	217,058	1,712,056
衛生費	1,067,078	5.6	34,967	761,634
労働費	2,093	0.0	-	93
農林水産業費	2,759,742	14.4	1,897,386	667,478
商工費	189,186	1.0	2,694	133,599
土木費	1,289,060	6.7	592,975	763,847
消防費	505,384	2.6	10,238	459,707
教育費	3,821,941	19.9	2,419,805	1,116,479
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	1,944,677	10.1	-	1,935,754
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	19,179,590	100.0	5,222,925	9,521,024

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6,489,675	33.8	4,256,945	4,238,018	51.9
人件費	2,420,640	12.6	2,118,115	2,099,188	25.7
うち職員給	1,449,310	7.6	1,277,412	-	-
扶助費	2,124,358	11.1	203,076	203,076	2.5
公債費	1,944,677	10.1	1,935,754	1,935,754	23.7
元利償還金	1,944,675	10.1	1,935,752	1,935,752	23.7
内 うち元金	1,885,001	9.8	1,876,078	1,876,078	23.0
内 うち利息	59,674	0.3	59,674	59,674	0.7
一時借入金利息	2	0.0	2	2	0.0
その他の経費	7,466,990	38.9	4,723,887	3,236,756	39.7
物件費	2,255,435	11.8	1,021,938	882,833	10.8
維持補修費	134,452	0.7	55,934	45,947	0.6
補助費等	2,322,284	12.1	1,873,311	1,251,110	15.3
うち一部事務組合負担金	763,918	4.0	747,199	628,879	7.7
繰出金	1,075,463	5.6	903,448	887,266	10.9
積立金	1,414,956	7.4	699,656	-	-
投資・出資金・貸付金	264,400	1.4	169,600	169,600	2.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,222,925	27.2	540,192	-	-
うち人件費	66,298	0.3	66,298	-	-
普通建設事業費	5,222,925	27.2	540,192	-	-
うち補助	3,392,668	17.7	185,028	-	-
うち単独	1,786,111	9.3	346,418	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	19,179,590	100.0	9,521,024	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和5年度 佐賀県白石町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	19,949	19,180	769	681	1,441	14,645	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	21,398	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	21,120	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	99.56	km ²	実質公債費比率	10.2	%
歳入総額	19,948,763	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	19,179,590	千円			
実質収支	680,819	千円	市町村類型	R01 V-O R02 V-O R03 V-O	
標準財政規模	7,921,754	千円	(年度毎)	R04 V-O R05 V-O	
地方債現在高	14,644,548	千円			

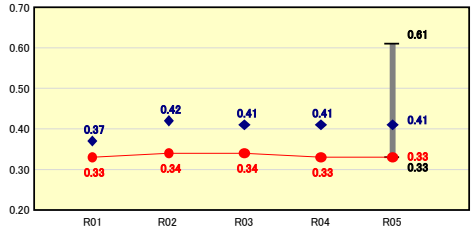


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

財政力指数 [0.33]

類似団体内順位 3/4 全国平均 0.48 佐賀県平均 0.50

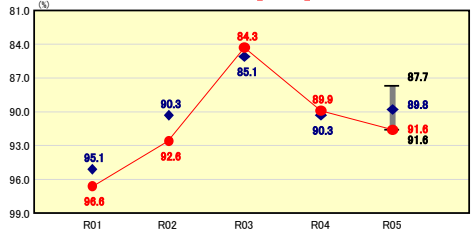


財政力指数の分析欄
 第1次産業主体の農村地帯であり、法人数が少ないため法人町民税が少ないことなどの要因により、財政基盤が弱く、類似団体平均、全国平均及び県平均を下回っている。
 今後も、企業進出などを見込むことが難しく、数値の改善は容易ではない。
 収納率の向上の強化や人口流出を食い止めることなどにより自主財源の確保に努めながら、事業の取捨選択、事務事業の見直し、公共施設の再編等の行財政改革により財政健全化を図る。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [91.6%]

類似団体内順位 4/4 全国平均 93.1 佐賀県平均 91.8

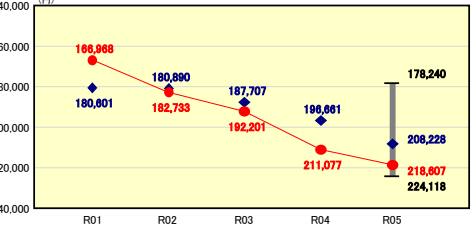


経常収支比率の分析欄
 分母となる臨時財政対策債が減少したことなどにより、前年度より1.7ポイント増の91.6%となり、全国平均及び県平均を下回っている。
 今後も扶助費の増加、町債発行に伴う公債費の増加が予想され、経常一般財源等の減少も予想されることから上昇が予想される。
 優先度の低い事務事業の廃止・縮小、公共施設の統合再編などにより、経常経費の削減に努めていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [218,607円]

類似団体内順位 3/4 全国平均 158,103 佐賀県平均 173,977

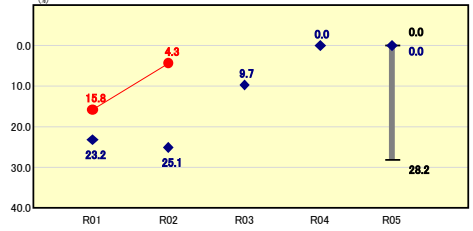


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人件費は給与改定のため増額し、物件費等は、ふるさと納税関連費用の増により増加、分母となる人口が減少したことにより、前年度より7,530円増加した。類似団体平均、全国平均及び県平均と比較すると高い状況にある。
 公共施設の統合再編などにより、維持管理経費の削減等に努めていく。

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/4 全国平均 6.3 佐賀県平均 0.0

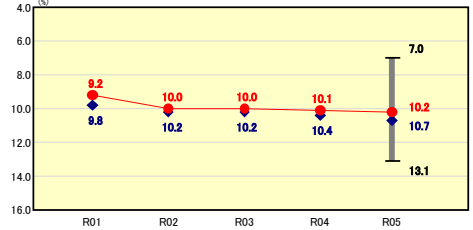


将来負担比率の分析欄
 将来負担額では、合併特例債や過疎対策事業債の地方債現在高の増により増加したが、充当可能財源等では、基準財政需要額算入見込み等の増加により、分子がマイナスとなり将来負担率は算定されなかった。
 今後は毎年の起債事業に加えて小学校再編に伴う大規模な建設事業が続き、多額の起債や基金取崩しが予想されるため、比率は上昇する見込みである。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [10.2%]

類似団体内順位 2/4 全国平均 5.6 佐賀県平均 7.4

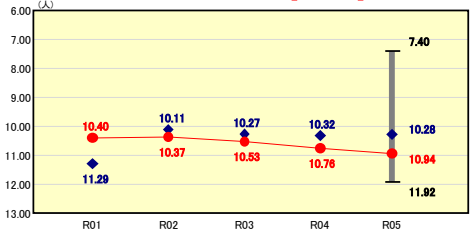


実質公債費比率の分析欄
 町債発行に伴う元利償還金の増による分子が増加、臨時財政対策債発行可能額の減少による分母の減少等により比率は上昇し、前年から0.1ポイント上昇し10.2%となった。類似団体平均を下回っているものの、全国平均、県平均と比較すると高い状況にある。
 今後は小学校再編に伴う大規模な建設事業が続き、多額の起債が見込まれるため、既存の起債事業について緊急度・住民ニーズを的確に把握し、事業の選択を行い新規発行の抑制に努めていく。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [10.94人]

類似団体内順位 3/4 全国平均 8.32 佐賀県平均 7.93

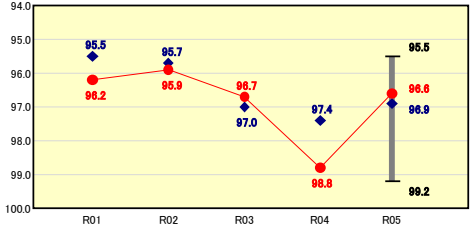


人口1,000人当たり職員数の分析欄
 定員適正化計画に基づき、職員数の削減に取り組んでいるが、町の人口減少率が大きく、前年度より0.18ポイント増加した。類似団体平均、全国平均及び県平均と比較すると高い状況にある。
 今後も職員数の適正化に努めていく。

給与水準 (国との比較)

ラスバイレス指数 [98.6]

類似団体内順位 3/4 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.3



ラスバイレス指数の分析欄
 令和4年度数値の誤りが判明し、実際の数値は96.7である。
 近年は、類似団体平均と比較すると低い状況にあるが、全国町村平均より上回る状況であるため、一層の給与の適正化に努める。

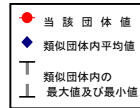
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

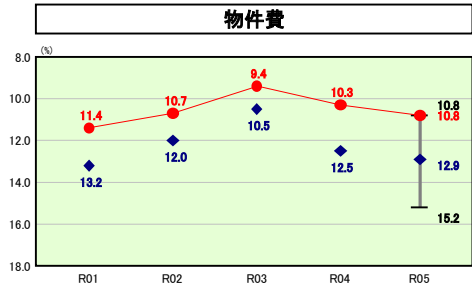
佐賀県白石町

経常収支比率の分析

人口	21,398	人(R6.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	21,120	人(R6.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	99.56	km ²	実収公債費比率	10.2	%
歳入総額	19,948,763	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	19,179,590	千円	市町村類型	R01 V-O R02 V-O R03 V-O	
実収収支	690,819	千円	(年度毎)	R04 V-O R05 V-O	
標準財政規模	7,921,754	千円			
地方債現在高	14,644,548	千円			

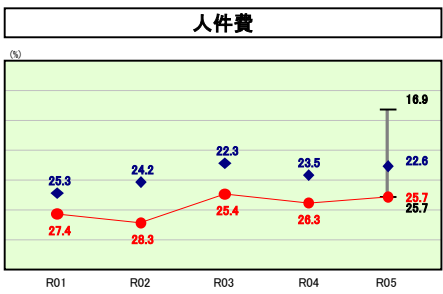


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



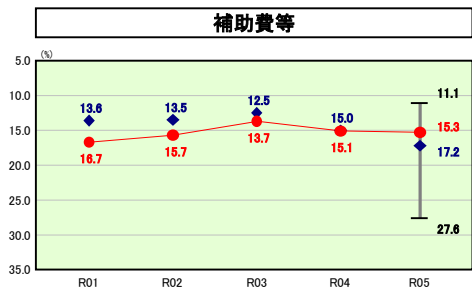
類似団体内順位 1/4 **全国平均** 15.2 **佐賀県平均** 13.3

物件費の分析値
 ふるさと納税の増額によるの手数料、新設中学校備品購入費、新給食センター器具等購入費の増加のため、前年度に比べ0.5ポイント上昇したが、類似団体平均、全国平均及び県平均と比較すると低い水準を維持している。
 今後も引き続き経費節減により、健全な財政運営に努める。



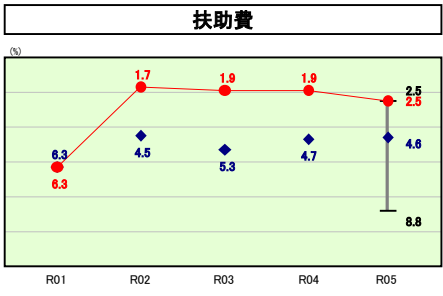
類似団体内順位 4/4 **全国平均** 25.5 **佐賀県平均** 23.6

人件費の分析値
 定員適正化計画に基づき職員数の削減に取り組み、前年度より0.6ポイント減少したものの、類似団体平均、全国平均及び県平均と比較して高い状況が続いている。
 今後も職員数の適正化に努めていく。



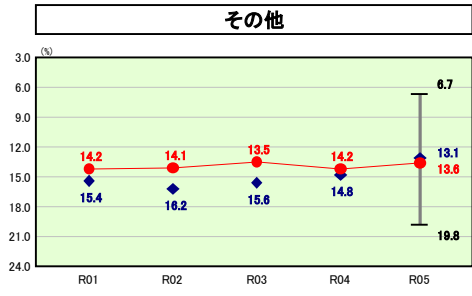
類似団体内順位 3/4 **全国平均** 10.7 **佐賀県平均** 12.8

補助費等の分析値
 物価高騰に伴う低所得世帯支援給付金の増のため、前年度に比べ0.2ポイント上昇し、全国平均及び県平均を上回っている。
 下水道事業や一部事務組合への補助金、負担金は今後も同水準で推移する見込みであり、数値は高止まり傾向になると思われる。



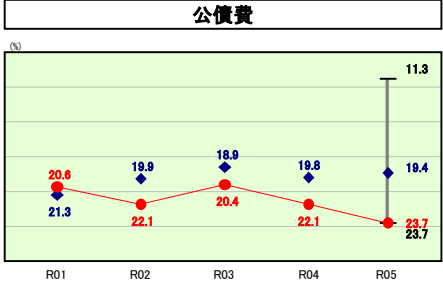
類似団体内順位 1/4 **全国平均** 13.2 **佐賀県平均** 11.8

扶助費の分析値
 令和2年度から保育園運営が私立保育園に移行したことに伴い大幅に減少している。令和5年度は、児童福祉費費の増により2.5%となり、類似団体平均、全国平均及び県平均を下回っている。
 今後も障害者福祉費や老人福祉費の増に加え、子育て施策の推進による増加が予想される。



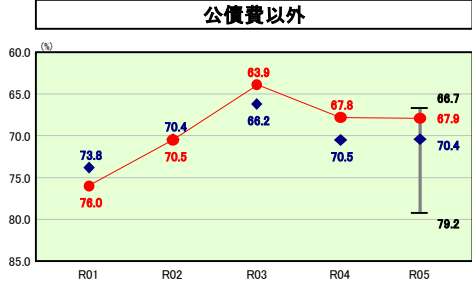
類似団体内順位 2/4 **全国平均** 12.6 **佐賀県平均** 13.3

その他の分析値
 その他に係る経常経費充当一般財源の合計額は前年とほぼ同水準となったが、分母となる町民税の増加により、比率は0.6ポイントの減少した。類似団体平均、全国平均及び県平均を上回っている。
 後期高齢者医療や介護保険給付への繰出金は、高齢化の進展に伴い、医療費や給付費がますます増加していくことが予想され、今後は増加する見込みである。



類似団体内順位 4/4 **全国平均** 15.9 **佐賀県平均** 17.0

公債費の分析値
 公債費は新規借入れに伴う元金償還金の増加により、1.6ポイント上昇し、類似団体平均、全国平均及び県平均を上回っている。今後は小学校再編に伴う大規模な建設事業が続き、多額の起債が見込まれるため、既存の起債事業について事業の選択を行い新規発行の抑制に努めていく。



類似団体内順位 2/4 **全国平均** 77.2 **佐賀県平均** 74.8

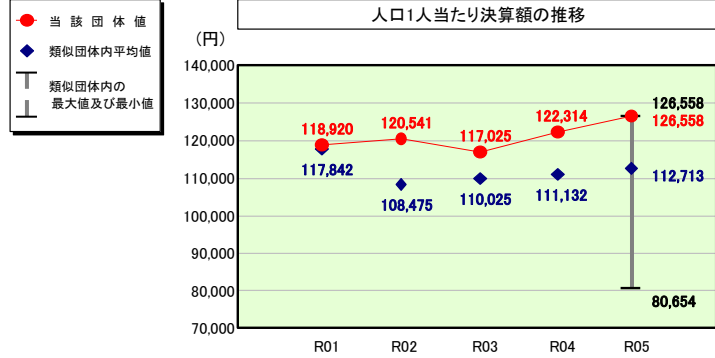
公債費以外の分析値
 前年度より0.1ポイント上昇したが、類似団体平均、全国平均及び県平均を下回っている。
 今後は、介護保険、障害者福祉等の社会保障費の補助金等の増加が見込まれるため、人件費や物件費等の固定経費の圧縮に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

佐賀県白石町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

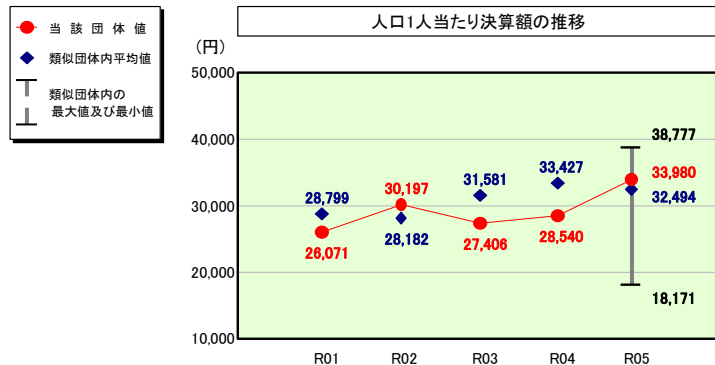
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,420,640	113,125	97,302	16.3
一部事務組合負担金(補助費等)	290,634	13,582	12,978	4.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	53,292	2,491	1,842	35.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	76,293	3,565	3,745	▲ 4.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	66,298	3,098	2,344	32.2
▲退職金	▲ 199,068	▲ 9,303	▲ 5,498	69.2
合計	2,708,089	126,558	112,713	12.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.94	10.28	0.66
ラスパイレズ指数	96.6	96.9	▲ 0.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

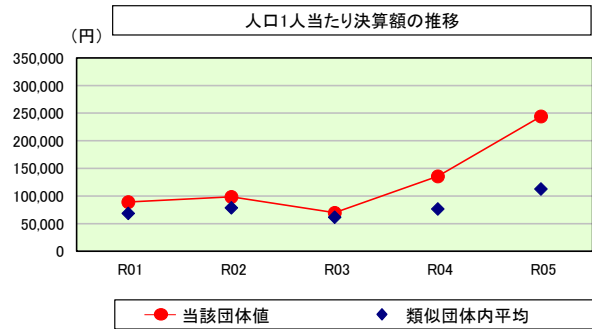
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,944,675	90,881	77,450	17.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	290,470	13,575	25,215	▲ 46.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	101,537	4,745	2,095	126.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,104	98	665	▲ 85.3
一時借入金利息 (同一団体内における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	8	-
▲特定財源の額	▲ 9,140	▲ 427	▲ 3,530	▲ 87.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,602,535	▲ 74,892	▲ 69,409	7.9
合計	727,111	33,980	32,494	4.6

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

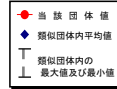
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R01	2,031,411	89,175	▲ 21.2	68,548	3.3	▲ 24.5
うち単独分	684,088	30,030	48.2	31,673	27.0	▲ 21.2
R02	2,211,753	98,453	10.4	78,575	14.6	▲ 4.2
うち単独分	591,886	26,347	▲ 12.3	41,766	31.9	▲ 44.2
R03	1,544,839	69,807	▲ 29.1	61,630	▲ 21.6	▲ 7.5
うち単独分	671,721	30,353	15.2	28,910	▲ 30.8	▲ 46.0
R04	2,952,952	135,824	94.6	76,485	24.1	70.5
うち単独分	1,181,963	54,366	79.1	29,566	2.3	76.8
R05	5,222,925	244,085	79.7	112,663	47.3	32.4
うち単独分	1,786,111	83,471	53.5	40,851	38.2	15.3
過去5年間平均	2,792,776	127,469	26.9	79,580	13.5	13.4
うち単独分	983,154	44,913	36.7	34,553	13.7	23.0

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

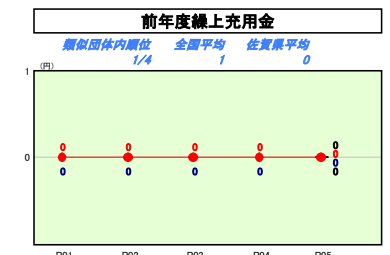
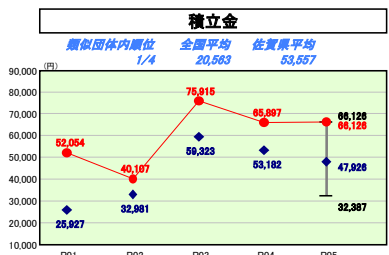
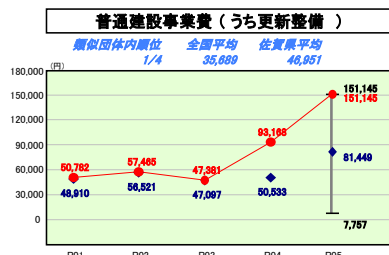
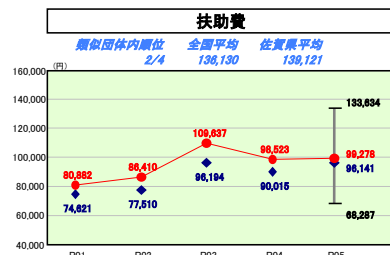
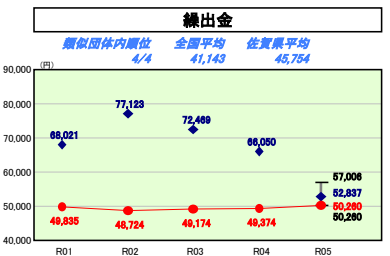
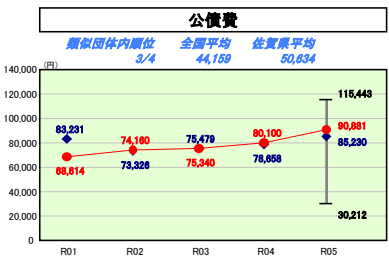
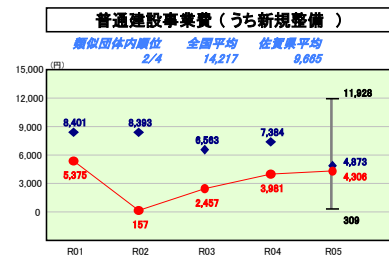
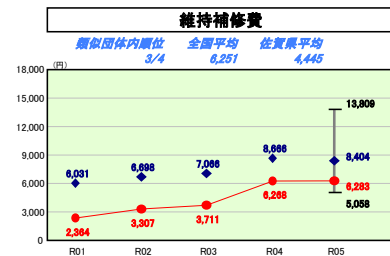
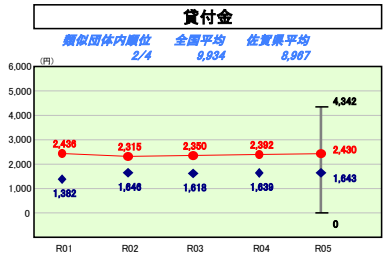
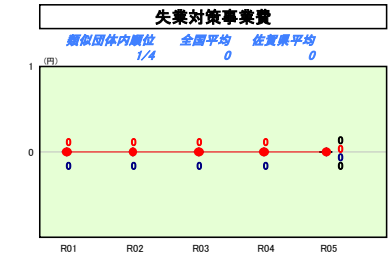
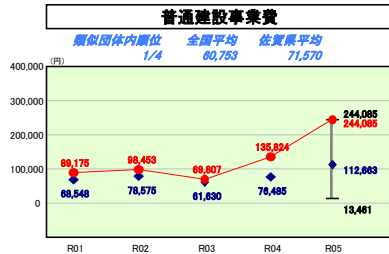
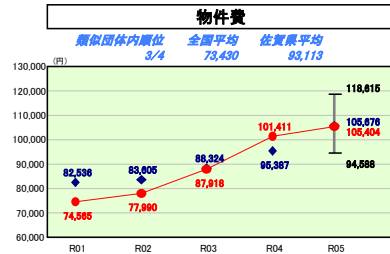
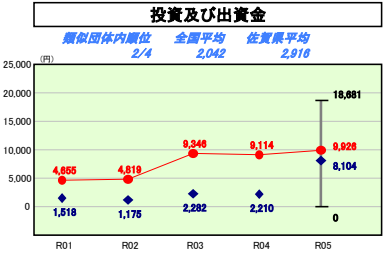
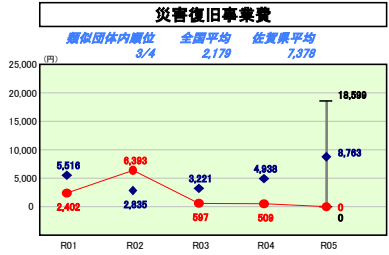
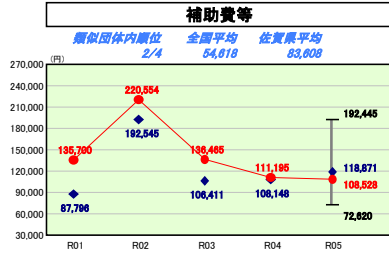
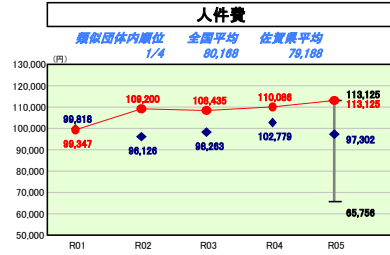
令和5年度

佐賀県白石町

人口	21,398人 (R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	9%
うち日本人	21,120人 (R6.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	9%
面積	99.66 km ²	実質公債費比率	10.2	9%
歳入総額	19,948,763千円	将来負担比率	-	9%
歳出総額	19,179,590千円	市町村類型	R01 V-O R02 V-O R03 V-O	
実質収支	880,819千円	(年度毎)	R04 V-O R05 V-O	
標準財政規模	7,921,754千円			
地方債現在高	14,644,548千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

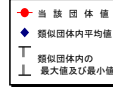
歳出決算総額に対する住民一人当たりコストは896,326円となり、前年度から125,633円の増となった。要因としては前年度より歳出決算額が2,424百万円の増となり、人口は343人減少したためである。
 歳出決算額増加の大きな要因は普通建設事業費の大幅な増加であり、住民一人当たり244,085円となり、前年度より108,261円、79.7%増となっている。学校統合再編に伴う中学校施設整備、新給食センター建設費の増、共同乾燥調製施設再編に係る補助金の増などがその要因である。
 公債費は住民一人当たり90,881円となり、類似団体平均を上回っている。前年度より10,781円増加しており学校統合再編に伴う中学校施設整備、新給食センター建設費に係る起債の償還などが加わったことが主な要因である。今後も学校再編に伴う大規模な建設事業が続くため増加が見込まれる。
 物件費は住民一人当たり105,404円となり、類似団体平均を下回っている。前年度より3,993円増加しており、ふるさと納税関連委託料が大幅に増加したことが主な要因である。ふるさと納税額は増加傾向であり、それに応じて今後も増加が見込まれる。
 その他の主な構成項目では、扶助費は住民一人当たり99,278円となり、類似団体平均を上回っている。障害福祉費は年々増加しており今後は増加が見込まれる。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

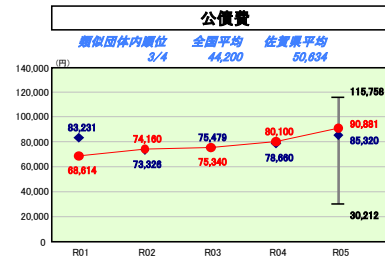
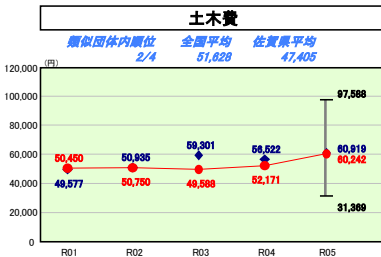
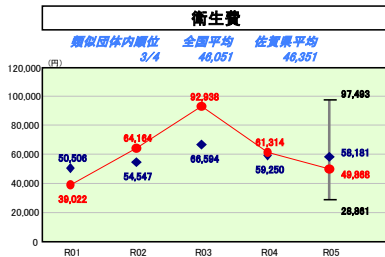
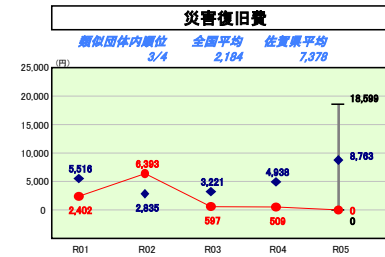
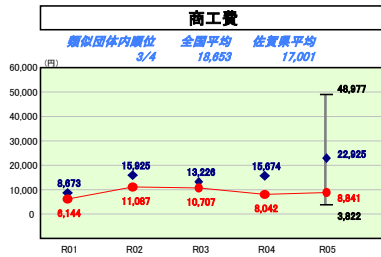
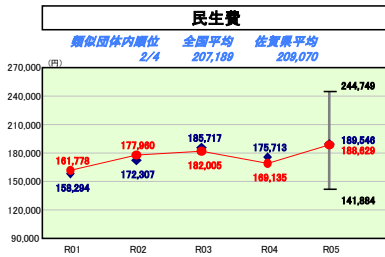
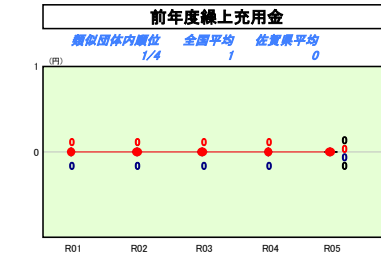
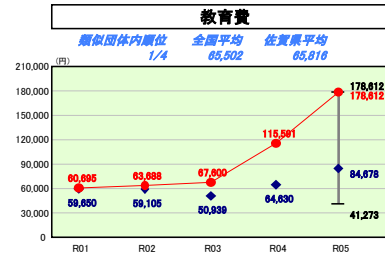
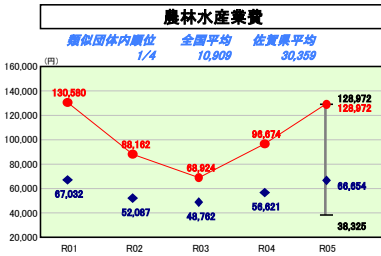
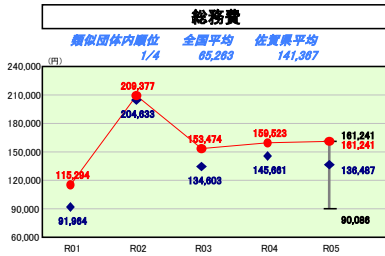
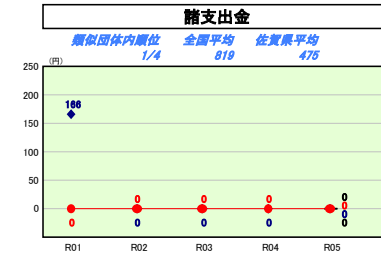
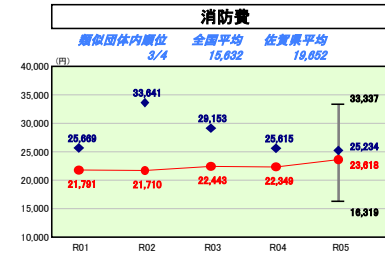
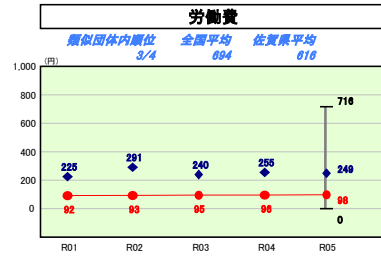
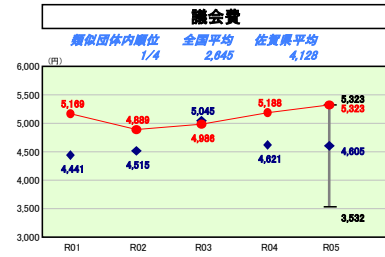
令和5年度

佐賀県白石町

人口	21,398人 (R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	21,120人 (R6.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-%
面積	99.66k㎡	実質公債費比率	10.2%
歳入総額	19,948,763千円	町村型負担比率	-%
歳出総額	19,179,590千円	市町村類型	R01 V-0 R02 V-0 R03 V-0
実質収支	680,819千円	(年度毎)	R04 V-0 R05 V-0
標準財政規模	7,921,754千円		
地方債現在高	14,644,548千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

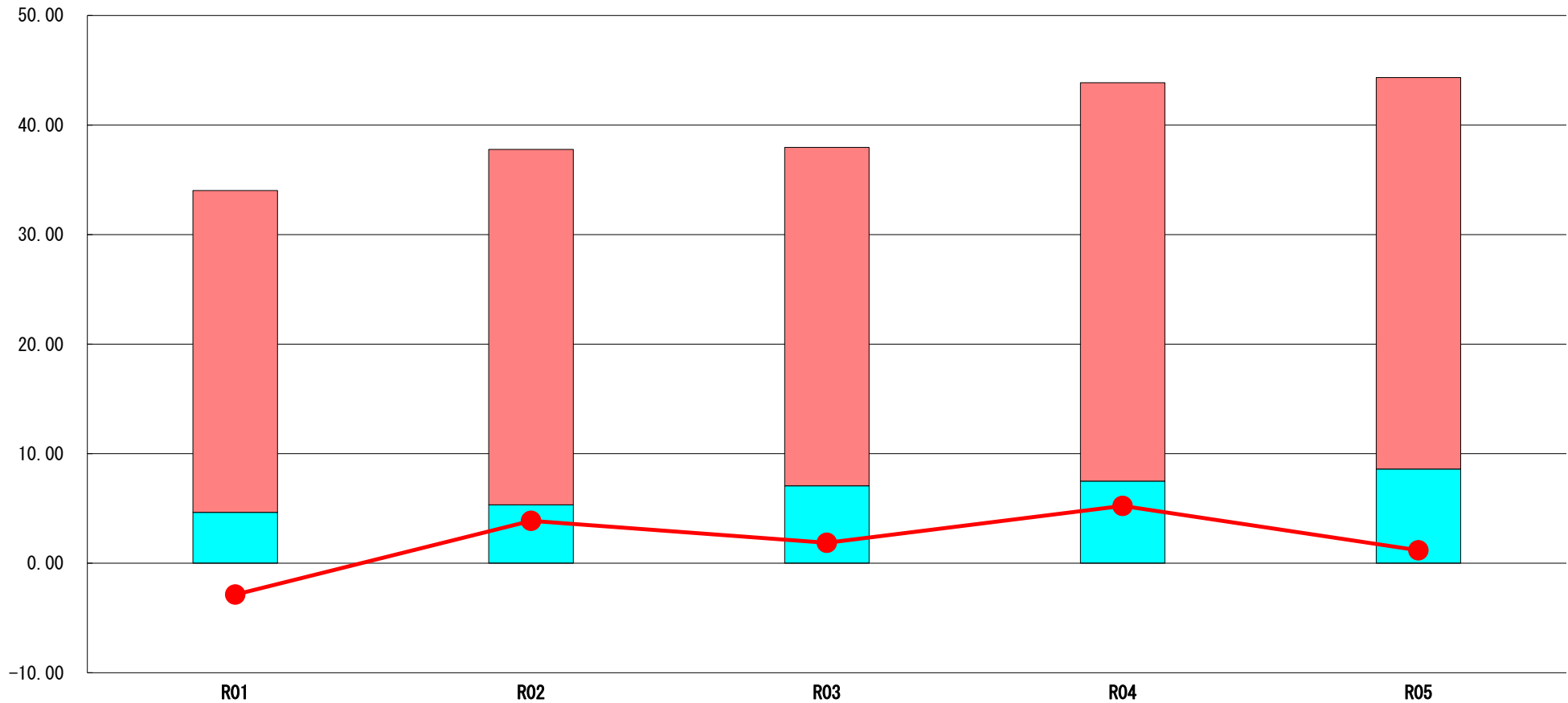
歳出決算総額に対する住民一人当たりコストは896,326円となり、前年度から125,633円の増となった。要因としては前年度より歳出決算額が2,424百万円の増となり、人口は343人減少したためである。
 民生費は住民一人当たり188,629円となり、前年度比11.5%増となった。物価高に伴う低所得者支援給付金、保育所等施設整備補助金の増となったことが主な原因である。
 衛生費は住民一人当たり49,869円となり、前年度比18.7%減となった。新型コロナウイルス接種関連費用が減少したことが主な要因である。
 農林水産業費は住民一人当たり128,972円となり、前年度比33.4%増となった。共同乾燥調製施設再編に係る補助金の増加が主な要因である。令和5年度においても全国平均及び県内平均を大きく上回り、また類似団体内でも最も高く、第1次産業が主体の農村地帯である当町の特徴となっている。
 教育費は住民一人当たり178,612円となり、前年度比54.5%増と大幅増となった。学校統合再編に伴う中学校の施設整備費、新給食センターの建設事業費が大幅増となったことが要因である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和5年度

佐賀県白石町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
 財政調整基金残高		29.38	32.45	30.89	36.36	35.74
 実質収支額		4.64	5.33	7.07	7.50	8.59
 実質単年度収支		▲ 2.87	3.87	1.87	5.23	1.17

分析欄

令和5年度においては、財政調整基金の取崩しにより基金残高は減となり、標準財政規模は増となったため比率は0.62ポイント減少した。実質単年度収支も4.06ポイント減少しており黒字を維持している。

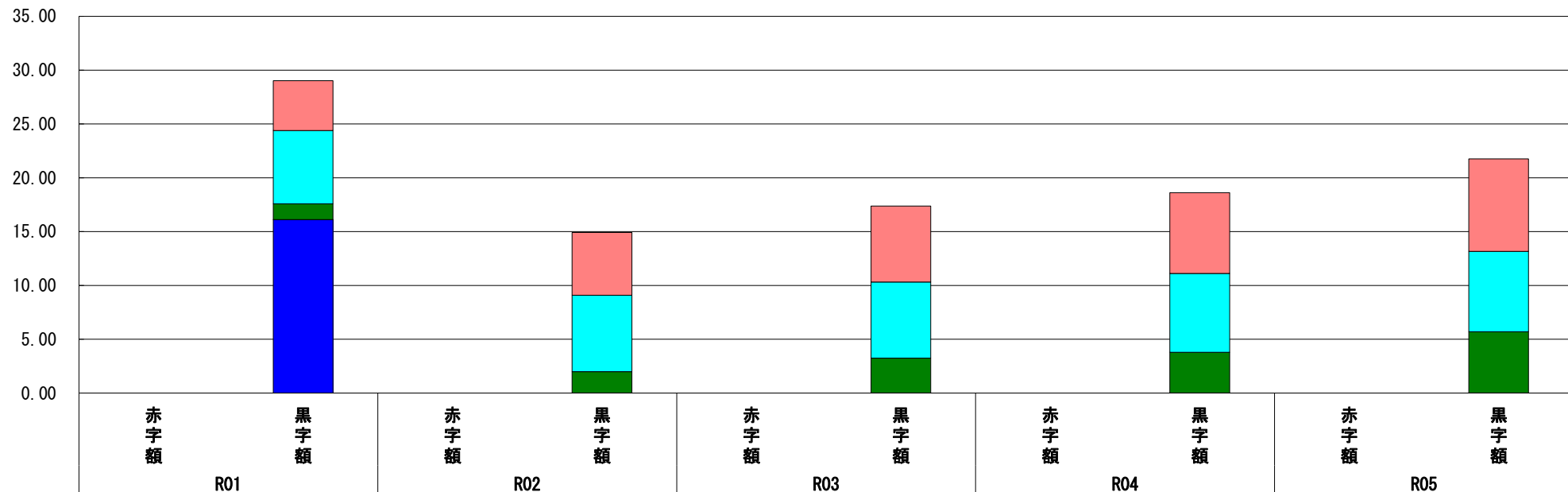
今後、人口減少に伴う税金、普通交付税の減による財源不足、一部事務組合の負担金や扶助費の増加が予想されるなか、小学校統合再編に伴う大規模な建設事業が続いていくことから、引き続き自主財源の確保策とともに、経常経費の抑制に努力する必要がある。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

佐賀県白石町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	R01	R02	R03	R04	R05
一般会計		4.63	5.83	7.06	7.50	8.59
白石町下水道事業会計		6.80	7.10	7.07	7.32	7.46
白石町国民健康保険特別会計		1.47	1.98	3.24	3.78	5.69
白石町後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		16.11	-	-	-	-

分析欄

国民健康保険特別会計については、平成21年度以降赤字が続いていたが、平成30年度からその運営が県広域化となったため、平成29年度に一般会計からの繰入れを行い赤字を解消している。しかし、保険給付費は今後も増加傾向にあることから、健診や健康づくりの推進に努める。

下水道事業会計については、令和元年度から法適用となり公営企業会計となった。令和4年度で管路整備が終了したことから、今後は企業債残高の減少が見込まれる。経営の効率化、経費削減等を行いながら健全な事業運営に努める。

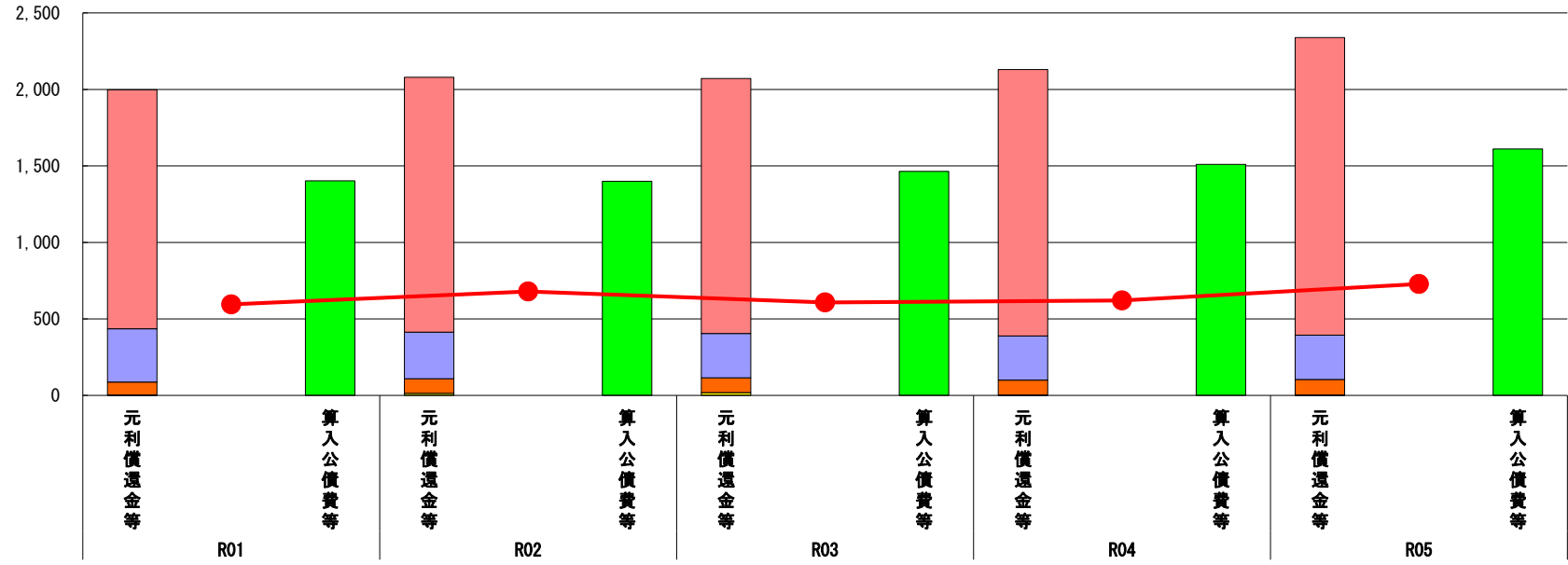
水道事業会計については、令和2年度より佐賀西部広域水道企業団と統合した。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

佐賀県白石町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等(A)	元利償還金		1,563	1,666	1,667	1,741	1,945
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		348	304	289	289	290
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		85	96	97	98	102
	債務負担行為に基づく支出額		2	13	18	2	2
	一時借入金の利子		0	0	0	0	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,403	1,400	1,464	1,510	1,611
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		595	679	607	620	728

分析欄

元利償還金等については、し尿処理場の建設負担金や新設中学校施設整備、新給食センター建設事業に係る起債の償還が始まったことなどから増加した。
算入公債費等については、過疎対策事業債や合併特例債等の償還費の増により増加した。
今後は、毎年の起債事業に加えて小学校再編に伴う大規模な建設事業が続き、多額の起債が見込まれるため、実質公債費比率は上昇していくことが見込まれる。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)						
	前年度末減債基金残高(D)						
	前年度末減債基金積立相当額(E)						

分析欄

満期一括償還地方債は発行していない。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

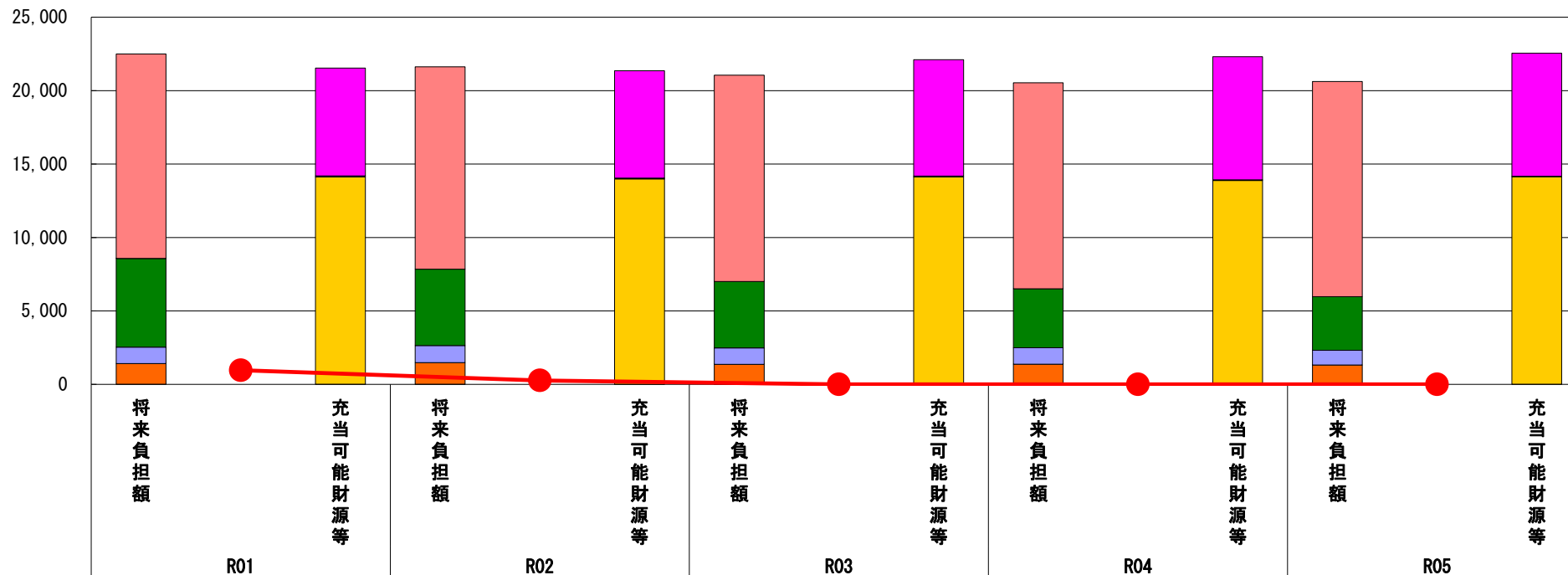
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

佐賀県白石町

(百万円)



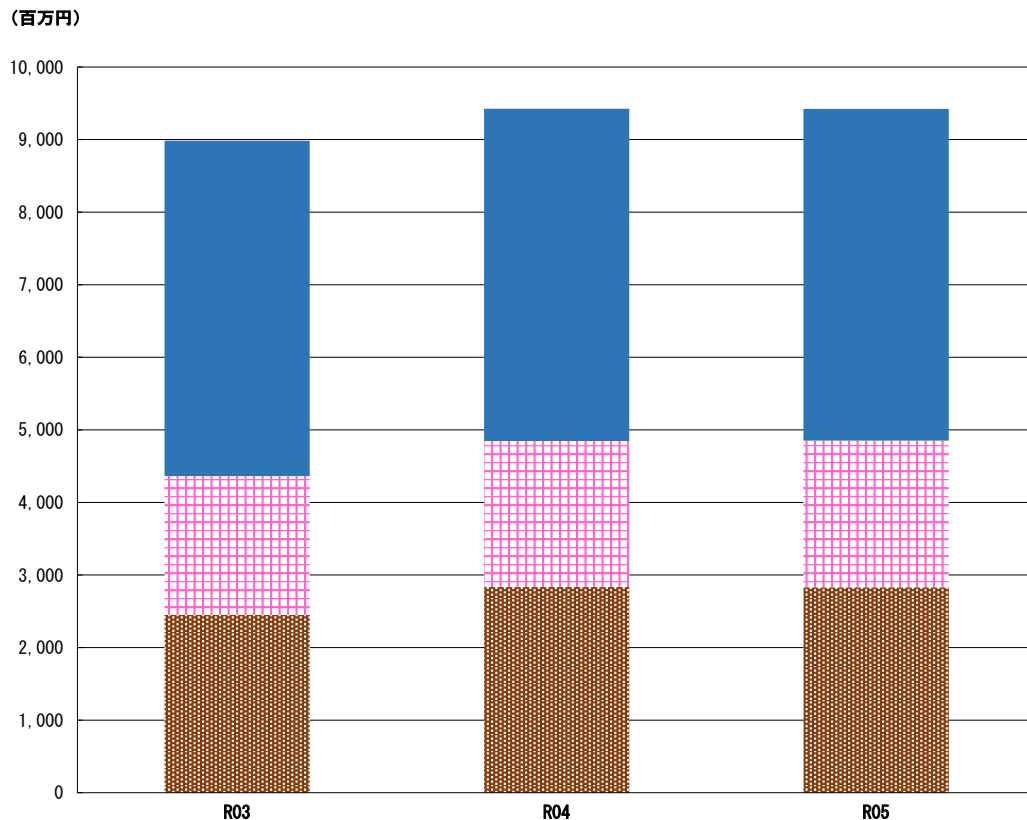
(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		13,915	13,775	14,045	14,020	14,645
	債務負担行為に基づく支出予定額		1	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		6,040	5,200	4,517	4,016	3,656
	組合等負担等見込額		1,117	1,162	1,128	1,116	1,000
	退職手当負担見込額		1,421	1,478	1,358	1,376	1,317
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		7,336	7,301	7,924	8,385	8,378
	充当可能特定歳入		72	61	51	41	32
	基準財政需要額算入見込額		14,124	13,986	14,129	13,878	14,141
(A) - (B)	将来負担比率の分子		962	267	▲ 1,055	▲ 1,777	▲ 1,933

分析欄

将来負担額については、下水道事業の公営企業債等繰入見込額の減に対し、合併特例債や過疎対策事業債の地方債現在高の増により増加した。
 充当可能財源等については、合併特例債償還費等の公債費の算入見込額の増のため、基準財政需要額算入見込みが増加したため増加した。
 将来負担額を充当可能財源等が上回ったことにより、令和5年度の分子はマイナスとなった。
 今後は、毎年の起債事業に加えて小学校再編に伴う大規模な建設事業が続き、多額の起債や基金取崩しが予想されるため、比率は上昇する見込みである。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		2,450	2,834	2,831
減債基金		1,912	2,013	2,020
その他特定目的基金		4,621	4,578	4,571
振興基金		1,492	1,472	1,480
公共施設整備基金		1,192	1,155	1,148
ふるさと基金		1,080	1,104	1,144
公共施設維持管理基金		359	357	354
地域福祉基金		387	378	347
基金残高合計		8,983	9,425	9,422

令和5年度 佐賀県白石町

基金全体

(増減理由)
 ・起債償還の財源として減債基金を198百万円、小中学校施設整備や公営住宅改修に充てるため公共施設整備基金を47百万円取り崩した。一方、歳入超過分等を財源として財政調整基金に294百万円、減債基金に205百万円、公共施設整備基金に40百万円、公共施設維持管理基金に60百万円、振興基金に100百万円を積立て、基金全体としては3百万円の減となった。

(今後の方針)
 ・各基金の保有額は、緊急的な財政出動への対応、町民への還元の必要性、基金の目的に従い適切な額を確保する。
 ・歳入超過時の積立て優先順位を財政調整積立基金、公共施設整備基金、減債基金とする。

財政調整基金

(増減理由)
 ・決算剰余金、歳入超過分を294百万円積立てて、取崩額が積立額を超過したため減少した。

(今後の方針)
 ・普通交付税合併算定替の特例措置の終了により、取崩額が増えていくが見込まれるが、近隣市町の状況や緊急的な財政出動を勘案し、各年度末の積立残高を標準財政規模の概ね25% (2,000百万円) 以上を目標とする。

減債基金

(増減理由)
 ・起債の償還のため198百万円を取り崩したが、歳入超過分を205百万円積立てたことにより増加した。

(今後の方針)
 ・国営筑後川下流白石土地改良事業償還金など大型の起債の償還金の一部に充てる。

その他特定目的基金

(基金の使途)
 ・振興基金：合併特例債による借入金を主な原資とし、新町まちづくり計画に位置付けられる地域住民の連帯の強化及び地域の振興を図る事業に充てる。
 ・公共施設整備基金：公共施設の整備及び改修を促進する事業に充てる。
 ・ふるさと基金：ふるさと寄附金を主な原資とし、独自の、個性的な地域活性化事業に充てる。
 ・地域福祉基金：地域福祉社会を築くための事業に充てる。
 ・公共施設維持管理基金：公共施設の維持管理や運営に要する財源に充てる。

(増減理由)
 ・振興基金：新設小中学校施設整備、新給食センター建設事業に92百万円を充て、歳入超過分と100百万円積立たことにより、8百万円増加した。
 ・公共施設整備基金：小中学校施設整備や庁舎LED照明更新工事に47百万円を充て、歳入超過分や基金利子を40百万円積立てたことにより、7百万円減少した。
 ・ふるさと基金：子育て支援や小中学校情報教育などの事業に671百万円を充て、ふるさと寄附金や基金利子を712百万円積立てたことにより、40百万円増加した。
 ・公共施設維持管理基金：ふれあい郷施設管理費などに63百万円を充て、歳入超過分や基金利子を60百万円積立てたことにより、3百万円減少した。
 ・地域福祉基金：認定こども園費などに31百万円充てたことにより減少した。

(今後の方針)
 ・振興基金：新町まちづくり計画に位置付けられる事業に充てることとし、取り崩しは前年度末までに合併特例債の償還が完了した額以内とする。
 ・公共施設整備基金：小中学校施設・社会体育施設・町道・橋りょう等の整備や改修に対し、毎年度事業費の1/2 (100百万円) 程度を充てる。
 また、今後の施設老朽化対策のため毎年の積立目標を50百万円以上とする。